

③都市に暮らす人々を取り巻く環境の変化

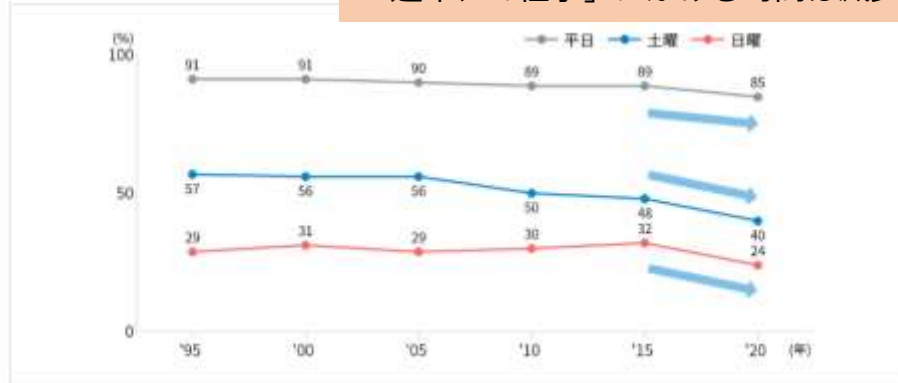
動向 市民のライフスタイルの多様化、ウィズコロナ・アフターコロナの社会形成への模索

・労働時間や働き方など**市民のライフスタイルニーズが多様化**しており、コロナ禍を経てその傾向がより顕著となって表れている。「居住したいまち」として評価されるためには、こうした多様なニーズへの対応が求められる。

【近年における国民生活の変化】

《1日における「仕事」時間の変化（勤め人）》

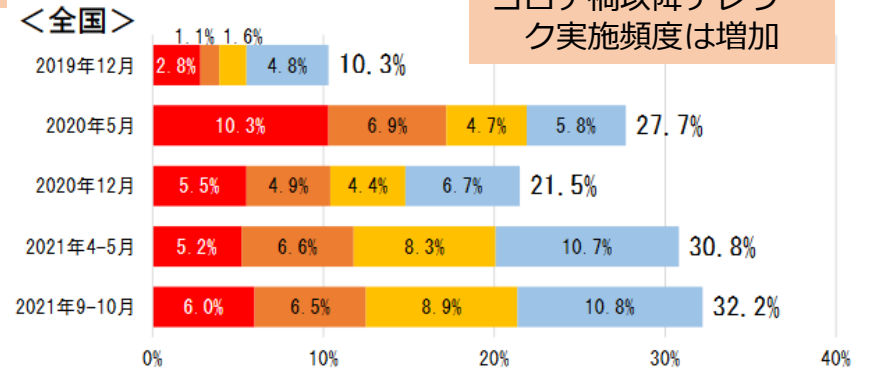
近年、「仕事」にかかる時間は減少



出典：「国民生活時間調査（NHK）」

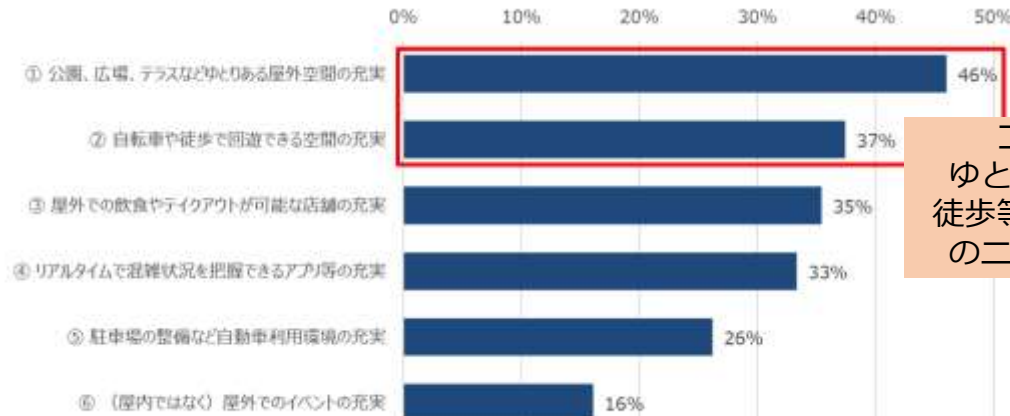
《テレワーク実施頻度の変化（就業者）》

コロナ禍以降テレワーク実施頻度は増加



出典：「第4回新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」（令和3年11月1日 内閣府）

【都市空間に対する意識（充実してほしい空間）令和2年8月】



コロナ禍を経て、ゆとりある屋外空間や、徒歩等で回遊できる空間へのニーズが高まっている

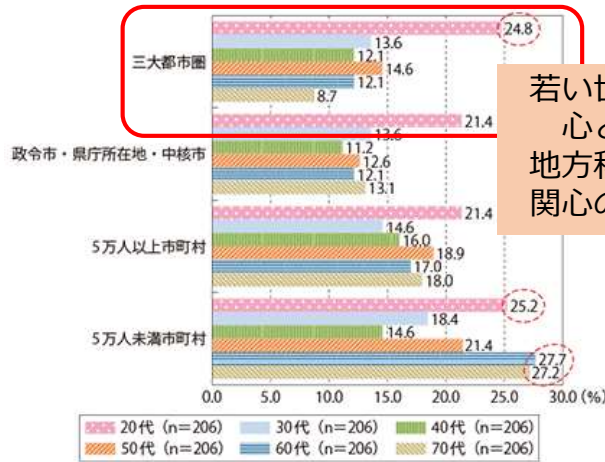
調査対象：特定警戒都道府県（札幌市、東京都市圏（茨城南部、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県）の市区町村）、金沢市、岐阜市、名古屋市、大阪市、豊中市、福岡市）、その他（盛岡市、仙台市、静岡市、四日市市、奈良市、広島市、松山市）
 調査対象：WEBアンケート調査会社に登録しているモニター12,872サンプル
 調査時期：令和2年8月3～25日
 調査方法：WEBアンケート調査会社を通じたWEBアンケート調査

出典：全国の都市における生活・行動の変化—新型コロナ生活行動調査概要—(国土交通省)

動向 都市部の人口流出

・地方移住への関心が高まっていたなか、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う暮らし方・働き方の変化を契機に、東京圏一極集中状況にも変化が生まれるなど都市部においても人口減少の流れが始まっている。大阪市においてもゆとりある空間の創出や暮らしやすいまちづくりがもとめられる。

【地方移住推進への希望（全国）】

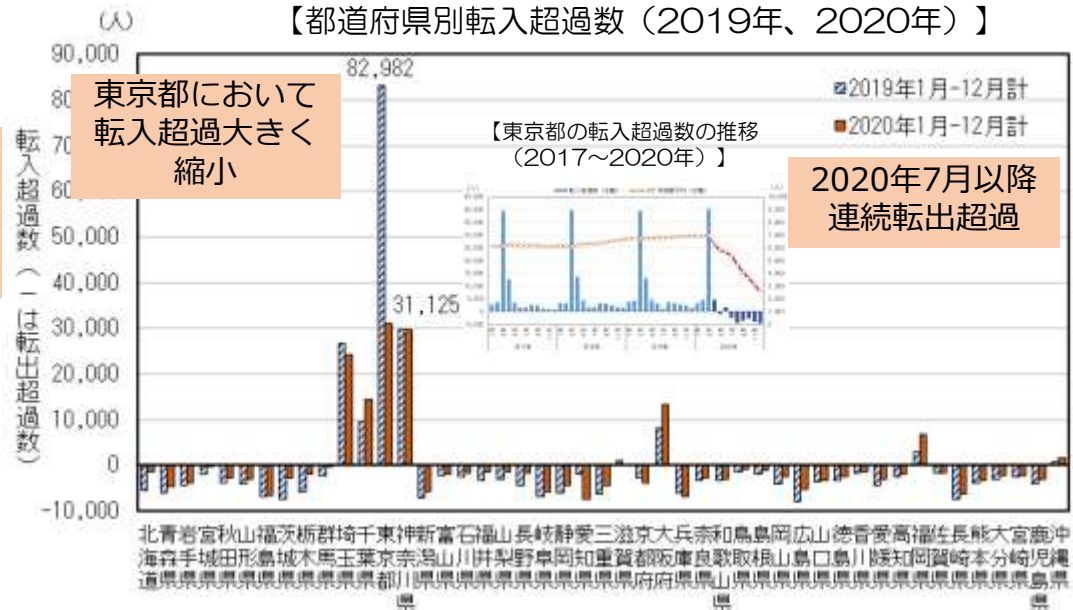


若い世代を中心とした地方移住への関心の高まり

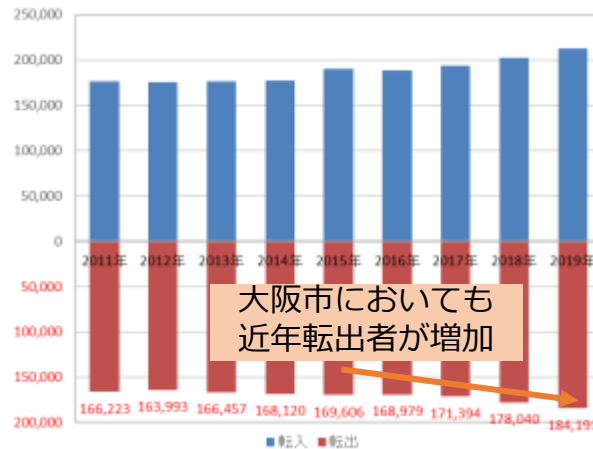
資料) 国土交通省「国民意識調査」

出典：平成29年度 国土交通白書

【都道府県別転入超過数（2019年、2020年）】



【大阪市の転入者数・転出者数の推移】



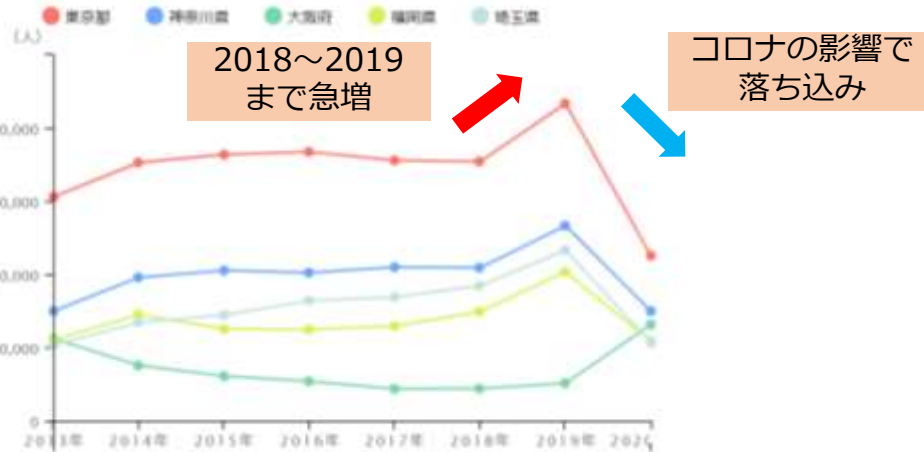
出典：総務省統計局HP「新型コロナウイルス感染症の流行と東京都の国内移動者数の状況一住民基本台帳人口移動報告2020年の結果から一」

出典：大阪市HP「平成30年中の人口の動き」

動向 大阪市への来訪者の増加

・近年、大阪市への来訪者数は、国内からの旅行者・外国人旅行者とも増加している。2020年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で激減したが、今後も多くの来訪者を受け入れる環境整備が求められる。

【大阪市への居住都道府県別延べ宿泊者数（日本人）の推移】



出典：地域経済分析システムRESAS

【大阪府への外国人旅行者数の推移】



出典：大阪府「2020年版なにわの経済データ」

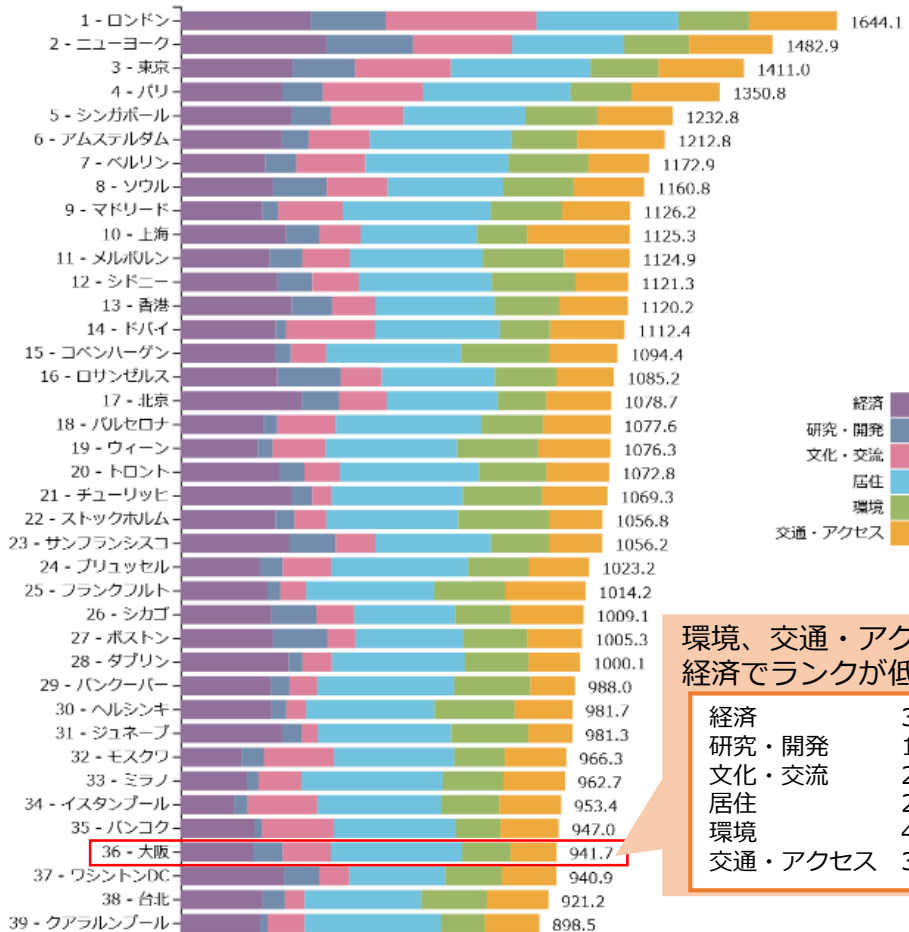
社会変化 高まる都市間競争

・情報技術の発展と普及により、情報がどこにいても入手できるようになったことで、経済や多様な分野でのグローバル化が進み、国際レベルでの都市間競争の時代になっている。都市の魅力向上と活性化は、**居住者人口、関係人口の増加をもたらす、ひいては企業の投資意欲を高める。**

【ランキングで見る大阪】

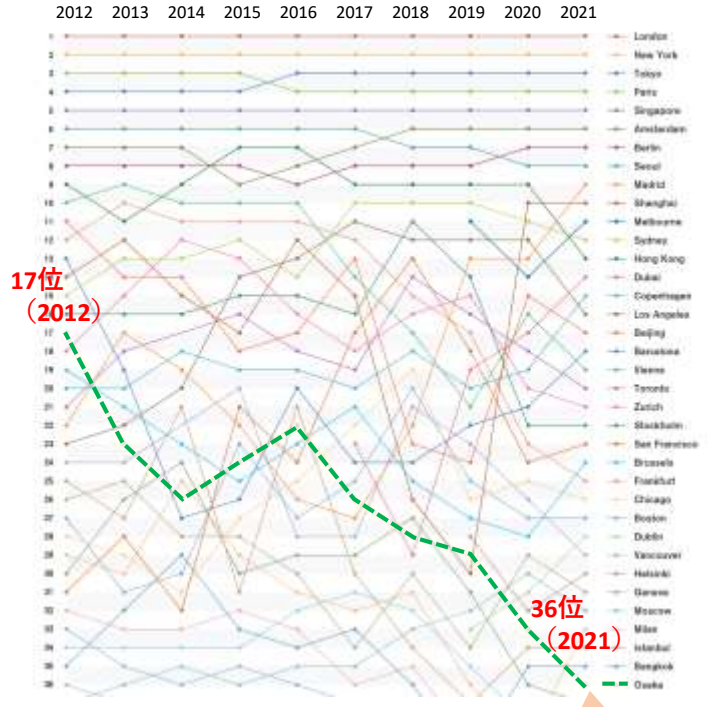
大阪※は「世界の都市総合ランキング2021」で36位/48都市
10年前17位（2012年）から19ランクダウン

※大阪市周辺を含む



環境、交通・アクセス、
経済でランクが低い

経済	37位
研究・開発	18位
文化・交流	20位
居住	21位
環境	42位
交通・アクセス	39位



10年間で
19ランクダウン

みどりを活用した取り組み事例



《新しい都市部における公園「南池袋公園」》

■東京都豊島区南池袋公園

(地元町会や商店会の代表者、豊島区、園内カフェレストラン事業者代表などの多様な主体による「南池袋公園をよくする会」が公園を管理運営。にぎわいの核となるカフェレストランや手入れの行き届いた芝生広場に多くの人がにぎわう。)

出典：豊島区HP「南池袋公園」



従来の人工的な緑地整備とは一線を画す、野性を併せ持つ自然の森

《まちなかに自然環境を再生することで都市を再生「大手町の森」》

■東京都千代田区

(都市の中の森としてアメニティを創出し、ヒートアイランド現象を緩和するなど、様々な価値を有した大手町地区の新しいかたちの公共空間である。)

出典：(日本公園緑地協会HP「第30回都市公園コンクール 国土交通大臣賞受賞作品の概要」)



《新しい都市部における公園「てんしば」》

■大阪市天王寺公園

(天王寺公園のエントランスエリア。約7,000㎡の芝生広場を中心に、子供の遊び場、ドッグラン併設のペットグッズショップ、フットサルコートをはじめ、カフェやレストランが立ち並び。)

出典：近鉄不動産HP「てんしば」

みどりに求められる役割の変化

シビックプライドを醸成し、人を引き付ける魅力となるみどりの重視
(ブランディング、観光資源、企業連携誘発、など)

公園緑地の新たな機能展開 (まちづくり拠点、健康づくり、密を避ける
オープンスペース)



まちなかの魅力あるみどり
「なんばパークス」

出典：なんばパークスHP「パークスガーデン」



「新しい生活様式」を心がけて緑の空間へ New Normal Green Life

出典：(公財)都市緑化機構